

## ステージプログラム：基調講演（13:45～14:15）

「脱炭素社会にむかう世界  
次の世代に引き継ぐ地域づくり」

高村 ゆかりさん

(東京大学  
未来ビジョン研究センター 教授)

専門は国際法学・環境法学。  
京都大学法学部卒業。  
名古屋大学大学院教授、  
東京大学サステナビリティ学連携研  
究機構 (IR3S) 教授などを経て現職。国際環境条約に関する法的  
問題。気候変動とエネルギーに関する法政策などを主な研究  
テーマとする。



地域の脱炭素化は、地域、住民のいのちと財産を気候変動から守り、よりよい未来の地域でのビジョンが重要であることや、2050年カーボンニュートラルの実現に向け、地域での課題や取組について、ご講演を頂きました。

こちらのご講演内容は、脱炭素チャレンジカップのYouTubeチャンネルより、ご覧いただけます。



## ステージプログラム：アイデア賞受賞者からの講演（14:15～14:35）

## 「脱炭素化は実現できるのか?!～気候変動に立ち向かうトップランナーたち～」

今大会より、新たにアイデア賞を新設致しました。アイデア賞は、取組の実績は必須ではなく、実施計画中や研究課程でも応募が可能となり、将来的に脱炭素化へ繋がるようなアイデアや提案を応募して頂きました。

今回は、全国から、139件の脱炭素な未来へと、よりよく変えていく創意あふれるアイデアをご応募いただきました。心から感謝申し上げます。

受賞者から、創意あふれたアイデアをご講演いただきました。講演の内容は、YouTubeチャンネルより、ご覧いただけます。

## アイデア賞受賞者

高畑 雅子さん

名称：街なかエネルギーアートコンペ

紹介：風力、太陽光、小水力…

まち中のエネルギーのポテンシャルを活かすコンペを、毎年全国各地を会場に定め開催。高専や企業など様々な団体や個人が、地元自治体や企業、市民の方と交流し、まちなかの利用提供に協力を求め、”再エネアート”を設置し、街を彩る。各都市でのエネルギー自給の潜在力を見える化し、街中でのエネルギー自給の普及促進を図る。



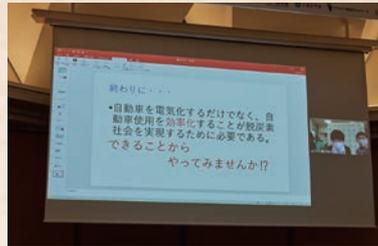


## アイデア受賞者

綿貫 雅人さん／ 鷲田 直哉さん 東京学芸大学附属大泉小学校

名称：都市部での自家用車の廃止

紹介：自動車によるCO<sub>2</sub>の排出が問題になっている。電気自動車に変換するとしても火力発電時にたくさんのCO<sub>2</sub>が排出されるため効果的ではない。よって自動車自体の数を減らす必要がある。特に都市部では公共交通機関が発達しているため、自家用車がなくても生活に困ることが少ない。都市部での自動車使用を少なくする取り組みが進めば、CO<sub>2</sub>が削減できると考えられる。

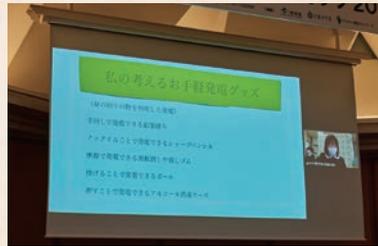


## 審査委員特別アイデア賞

前島 叶和さん 東京学芸大学附属大泉小学校

名称：電力自給のための発電型小学校への計画

紹介：小学校で使う電力は自分たちで作れないの?という疑問から考えた取り組みです。私たちの小学校で使われている電力の自給自足にむけて、今ある技術を調べ積極的に取り入れた小学校を作りたいと思い計画してみました。また、電力について学ぶ中で自分たちで発電グッズなどを作りたいと思います。



## ステージプログラム：パネルディスカッション(14:35～15:45)

### 「脱炭素化は実現できるの?!～地域での挑戦～」

過去の受賞者から現在の活動を紹介して頂いた後に、アイデア受賞者と高村氏も加わり、地域での脱炭素な社会の構築に向けて、話し合いを行いました。YouTube チャンネルより、ご覧いただけます。

#### 【過去受賞者からの講演】



2017大会 環境大臣賞 金賞  
ホタルネットワーク mito 高橋克英さん



2020大会 文部科学大臣賞  
劇団シンデレラ ファンキー健一さん

#### 【パネルディスカッション】

